

形成外科

《概要》

【人員構成と施設資格】（平成 20 年 12 月 31 日現在）

常勤スタッフ 1 名（中川達裕：日本形成外科学会専門医）・常勤医員 1 名（那須賢花）の計 2 名。

日本形成外科学会認定医教育関連施設。

【主な診療内容と特色】

○クラニオフェイシャルサージェリー・美容外科などの特殊分野を除いた形成外科全般に対応可能

○皮膚良性腫瘍、母斑、血管腫、皮膚悪性腫瘍の外科的治療

○顔面骨骨折の観血的整復手術

○眼瞼下垂・睫毛内反の修正手術

○レーザー治療

表在性血管腫に対するダイレーザー治療、太田母斑・異所性蒙古斑・外傷性刺青に対するアレクサンドライトレーザー治療、皮膚表在性病変に対する炭酸ガスレーザー治療が可能。

○乳癌術後の乳房再建

自家組織あるいはシリコンバッグによる乳房再建が可能。エキスパンダーバッグを併用した、整容度の高い再建を目指している。

○顔面神経麻痺の外科的治療

眉毛・眼瞼・口角下垂の矯正、神経移植による機能回復手術など。

○熱傷の治療

○外傷後や手術後の瘢痕、ケロイドの治療

○陥入爪・巻き爪の治療

○癌切除後再建、外傷性・難治性皮膚欠損の再建手術

口腔外科や耳鼻科と合同でのマイクロサージェリーによる頭頸部再建手術や、その他皮膚科・外科・整形外科・産婦人科・脳神経外科からの再建手術を担当。

○院内活動

全入院患者の褥瘡対策を担い、褥瘡対策チームの中心として看護師・栄養指導士とともに週 1 回の褥瘡回診をおこなうとともに、褥瘡発生率・罹患率の減少に努めている。

○泉州救命救急センターでの手術支援

重症熱傷・多発顔面骨骨折・外傷後皮膚欠損などの手術に参加し、同時にそれら第 3 次救急患者の後送施設の役割を担う。

《実績》

手術患者数統計(2008. 1. 1～12. 31)

【日本形成外科学会・学会区分による統計】

熱傷	1
顔面骨骨折・顔面軟部組織損傷	11
手足の先天異常・外傷	5
その他の先天異常	7
母斑・良性腫瘍・血管腫	259
悪性腫瘍およびそれに関連する再建	71
瘢痕、瘢痕拘縮、ケロイド	10
褥瘡、難治性潰瘍	2
その他	42
レーザー	178
手術数総合計	586

《業績》

(1) 学会研究会報告 (2008. 4～2009. 3)

番号	整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1		当科における乳癌切除時エキスパンダー挿入による二期的乳房再建術の検討	○中川達裕 北原和子	第52回日本形成外科学会総会・学術集会	2008. 4. 9-4. 11
2		大腿に生じたSuperficial angiomyxomaの1例	○那須賢花 中川達裕	第91回日本形成外科学会関西支部学術集会	2008. 11. 29
3		当科における乳房再建の現状	○中川達裕 那須賢花	第30回大阪形成外科医会	2009. 2. 11